

- JFPAは
5Aの
実現を目指
します!
- ① adolescent 思春期保健の推進
 - ② abortion 人工妊娠中絶の防止
 - ③ access どこでも誰もがサービスを受けられる
 - ④ advocacy 啓発・提言活動
 - ⑤ AIDS STD及びHIV/AIDSの予防

家族と健康

健康教育情報紙

社団法人 日本家族計画協会
リプロ・ヘルス推進事業本部
健康教育推進本部協力: 財団法人予防医学事業中央会
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 <http://www.jfpa.or.jp>

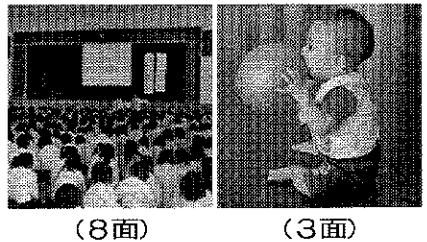
発行人: 近泰男 編集人: 柴田昭二

毎月1回1日発行 年額料金¥3150 1部¥315元共

今月のページ

- 健やか親子21全国大会
(母子保健家族計画全国大会)に向けて
乳幼児体操のすすめ
思春期への防煙サポート
職域保健の現場から⑦
避妊教育ネットワーククリレートーク
健診機関で働く保健師の立場から⑥
5Aの実現を目指します!

8面 7面 6面 5面 3面 2面



トピック

平均寿命
女性86.44年、男性79.59年

平成21年簡易生命表

厚生労働省は7月26日、「平成21年簡易生	命表」を公表した。
命表】女性86・	前年と比較して女性は
0・39年、男性は0・	44年、男性79・59年。
30年上回った。男女差	は6・85年で前年より

【生命表上の生存状況】		率が最も高く、次いで、
厚生労働省は7月26日、「平成21年簡易生	命表」を公表した。	率が最も高く、次いで、
命表】女性86・	前年と比較して女性は	率が最も高く、次いで、
0・39年、男性は0・	44年、男性79・59年。	率が最も高く、次いで、
30年上回った。男女差	は6・85年で前年より	率が最も高く、次いで、
0・09年拡大した。	命表】女性86・	率が最も高く、次いで、
生物で将来死亡する確	前年と比較して女性は	率が最も高く、次いで、
度では男女とも悪性新	44年、男性79・59年。	率が最も高く、次いで、
死因別死亡確率】0	は6・85年で前年より	率が最も高く、次いで、

自分のリズムで生きる

Living by your own rhythm.

このサブは、OC(低用量経口避妊薬)についての
正しい知識を身につけていただくことを目的としています。

OCケータイ情報

会員登録(無料)することでOCの服用時間を
お知らせするメールが受信できます!<http://oc-cycle.jp>

情報閲覧・会員登録無料!※バケット通信料は別途必要になります。

低用量経口避妊薬(OC)

ウェブサイト

OCことはもちろん!初めての受診や女性の
健康など、関連情報を掲載しています。<http://www.oc-rizum.jp>シェリング・プラウは、女性のクオリティー・オブ・ライフ(生活の質)に
貢献する選択肢の一つとしてOCをとり上げ、その正しい情報提供に
努めたいと考えています。

シェリング・プラウ株式会社

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-3-7

「緊急避妊法の適正使用に関するガイドライン」の作成を求め、本会では7月27日、北村邦夫長名で、8月24日には、家族計画研究センター所

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。

これを受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

武谷雄二東京大学医学部産科婦人科学教室教授から、吉村泰典理事長宛て要望書が提出された。これが受け、8月12日、日本産婦人学会から、ガイドラインとしてではなく適切な指針を可及的速やかに作成する準備に入りました。書面で回答があつた。日本産婦人学会は、同会「女性ヘルスケア委員会」の豊地勉委員長(鹿児島大学教授)を中心6人前後の委員に、緊急避妊ピルは、昨年9月

